

# 提 言 書

平成 2 9 年 3 月 2 3 日

とっとり若者地方創生会議

平成 28 年度



## 鳥取市への提言

### 「若者の移住定住の促進」

#### ■背景

鳥取市には鳥取大学と公立鳥取環境大学の2つの大学があり、県外出身の学生が7～8割を占めている。しかし、県外出身者のほとんどが大学卒業後の就職先として県外を選択し、鳥取に定着していない。鳥取市では、毎年約1,000人のペースで若年世代人口が減少しており、このまま若者人口の社会減が進むと、産業や地域コミュニティの担い手が不足し、地域の衰退は否めない。大学卒業後の県内・市内定着を促進する方策が求められている。

#### ■経緯

平成28年度のとっとり若者地方創生会議では上記の背景のもと、鳥取大学と公立鳥取環境大学の学生対象とした定性調査を行ったほか、多数の定量調査の結果を収集し、鳥取市への定着のヒントとなる学生のニーズを調査した。その結果、「鳥取市で暮らす／働く大人との交流」が求められていることがわかり、学生が鳥取市で暮らす／働く大人に出会える機会を創出するためイベントを開催した。また、若者の移住定住などをテーマに先進的な取り組みを行っている島根県雲南市を視察した。

#### ■提言内容

今後、とっとり若者地方創生会議の活動を円滑に行い、かつ有意義なものにするためには、より明確なミッションを提示し、意欲のあるメンバーを募るとともに、政策企画課のみならず、複数の課や市の関連団体との連携をとりながら、事業に取り組むことが望ましい。平成28年度の活動を通じて得た実感をもとに、来年度以降のとっとり若者地方創生会議の活動として、以下のテーマとミッションを提案する。

#### ◆テーマ

鳥取市への若者の移住定住を目標に、

- ① 県内の大学および専門学校等の学生と鳥取市の大人とのつながりの機会を創出する
- ② 県内の大学および専門学校等の学生が鳥取市に対して愛着を感じることで創出する

#### ◆ミッション

##### ① 学生が企画する学生と鳥取市で暮らす／働く大人をつなぐイベントの定期的な開催

鳥取市でも、学生と大人をつなぐことを目的としたイベントは多数開催されているが、そのようなイベントへの参加は敷居が高いと感じる学生も多い。平成28年度に開催した「カフェ de トーク」は、そのような学生も参加しやすいように「食事を囲み、ざっくばらんに話す」イベントにすることによって、参加者全員から「またこのようなイベントがあれば参加したい」との回答を得る満足度の高いイベントとなった。鳥取市の事業であるとっとり若者地方創生会議でこのようなイベントを開催することによって、学生が鳥取市で暮らす／働く大人に出会い、その生の声を聞くことができる機会を創出することができる。

## ② 中心市街地における若者の活動人口を増加させる方策を考案する

平成 28 年度のとっとり若者地方創生会議で実施した定性調査等において、鳥取市には「若者向けのお店が少ない」「遊ぶ場所がない」などの声を多数得た。このような声がきかれる背景にはそもそも若者がまちなかのお店や遊び場を「知らない」ということが考えられる。そこで次年度の会議では、若者にまちなかを歩いてもらうような方策を中心市街地活性化協議会および中心市街地整備課等の関係団体と連携をして、考案していくことを提案する。

## ③ 県外出身の学生に、若者目線の鳥取の新しい楽しみ方を提案する

また、まちなかにかぎらず鳥取市全体の魅力を「知らない」ということも考えられる。そこで次年度の会議では、県外出身の学生を対象とした鳥取の新しい楽しみ方を発掘し、それに基づいたバスツアーなどを、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会等と連携して企画することを提案する。